

3年生 12月の 学習の手引き



12月22日は冬至の日です。冬至は一年でいちばん夜の長い日です。冬至が過ぎると一日一日、日足が長くなることから、むかしの人は「一陽来復」といって、この日を境に運気が上向くと考えました。さらに、この時期に、れんこん・だいこん・にんじん・ぎんなん・きんかん・かんとん・かぼちゃ(南瓜・なんきん)など「ん(運)」の2つつくものを食べて、さらに運気をあげようとしたそうです。この辺りは新鮮な野菜も豊富です。おいしいものをしっかり食べて、寒い冬を上手に乗り切りましょう。

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29 ⑩	30	12/1 ⑩	2
3	4	5	6 ⑪	7	8 ⑪	9
10	11	12	13 ⑫	14	15 ⑫	16 英語★
17	18	19	20	21	22	23

■ が授業のある日です。 (国語・算数) 水・金曜日 16:20～17:35
(英語) 金曜日 17:40～18:20

- ・ 欠席や遅刻をする場合は、必ず担任宛、お電話でその旨ご連絡ください。
- ・ 持参するもの……上ばき、筆記用具、「グリムの昔話①」、テキスト、ノート類

ノーリツ学園

国語の授業のすすめ方

いよいよグリムの最終授業となります。今月のお話は「がちょう番のむすめ」です。情景もあざやかで、お話の展開もとてもドラマティックで、グリムの中ではそれほど知られていないお話ですが、最後をかざるにはふさわしいお話だと思います。前回の「ラプンツェル」と同じように、3回に分けてしっかり内容をよみとっていきます。年が明けて来年になったら、4年生の準備学習として新しい教材「だれもが子供だったころ」の読解に入っていきます。

⑩11月29日(水)	基礎学力シート 第七回 (漢検 7級③) 読みとりをすすめる。 「がちょう番のむすめ」 先生が1回目の素読をします。
12月1日(金)	「がちょう番のむすめ」① P 160～P 164 美しい王女がこしいれのとちゅうで、はら黒いこしもとのわるだくみにかかって、こしもとと身分を入れかえられてしまいます。
⑪12月6日(水)	基礎学力シート 第八回 (漢検 7級③) 筆順や部首にふれる。 「がちょう番のむすめ」 先生が2回目の素読をします。
8日(金)	「がちょう番のむすめ」② P 164～P 172 うそをついて、まんまと王子のおきさきになりすましたこしもとでしたが、王さまは、こしもと(王女)の美しさにちゃんと気づいていました。
⑫12月13日(水)	基礎学力シート 第九回 (漢検 7級③) 書きとりをすすめる。 「がちょう番のむすめ」 先生が3回目の素読をします。 ※冬休み中の課題として「漢字学習ステップ」を配付します。
15日(金)	「がちょう番のむすめ」③ P 173～P 177 真実を知った王さまは、こしもとに自分で自分のさばきをつけさせ、こしもとは町じゅうをひきまわされて、ころされてしまいます。

- ・漢字シートと「グリムの昔話」読解シートは、授業用のほかに家庭学習用としてももう1枚余分に配布しますので、家庭で再度反復学習に利用して下さい。
- ・「がちょう番のむすめ」は「グリムの昔話」の第1巻におさめられています。

算数の授業のすすめ方

「重要単元問題集」を使って新しい単元の学習、「重要単元問題集」を使って家庭での復習の形で授業が進行します。進行は変わりませんので、ペースをつかんで学習していきましょう。「ドリル」はその週に学習した単元を週末に仕上げ、次の週の水曜日に提出して下さい。授業担当者が採点をして金曜日に返却します。

⑩11月29日(水)	BOOK	4回 小数(2) 小数のしくみをおぼえて、1を10等分した量の1つ分が0.1で、小数点のすぐ右の位を小数第1位ということを理解します。
12月1日(金)	BOOK	4回 小数(2) 小数のしくみを理解し、たし算・ひき算のやり方をおぼえます。
12月2日～5日	ドリル	家庭学習として 第4回①～⑦演習(12月6日提出)
⑪12月6日(水)	BOOK	5回 線分図の利用 数量の大きさを、直線の長さで表した図のことを線分図ということを理解します。
8日(金)	BOOK	5回 線分図の利用 線分図を理解し、文章の内容を線分図で表せるようにします。
12月9日～12日	ドリル	家庭学習として 第5回①～⑦演習(12月13日提出)
⑫12月13日(水)	BOOK	6回 時ごとと時間(2) 時ごとと時間のちがいを理解し、24時制を利用する計算の仕方を理解します。
15日(金)	BOOK	6回 時ごとと時間(2) 文章題で理解を深めるとともに、「0.1時間=6分」のように小数で時間を表せるようにします。
12月16日～9日	ドリル	家庭学習として 第6回①～⑦演習(1月10日提出)

英語の授業のすすめ方

小3生では、今まで覚えてきた単語をセンテンスとして使いこなせるように、会話表現の受け答えや慣用表現の習得に取り組んでいきます。

おぼえていく英文も、だんだんむずかしくなってきました。正確に書けるようにするためには、文を作るルールを身につけていかなければなりません。どのようにたずねるのか、どのように答えるのかを、パターンにあわせて使いこなせるようにしていきましょう。12月16日にはクリスマスパーティを行いますので、楽しみにしててください。案内は12月1日に配付します。

<p>①12月1日(金)</p>	<p>What would you like ? (何にしますか)</p> <p>基本文 「What would you like ?」「I'd like a hot dog , please. 」</p> <ul style="list-style-type: none">① 基本文をしっかりおぼえよう。② セリフが言えるように、先生や友達と会話してみよう。③ 単語を入れかえて、いろいろな表現をおぼえよう。④ 基本文が書けるように練習しよう。
<p>②12月8日(金)</p>	<p>Which ~ ? (こちらですか,それともあちらですか)</p> <p>基本文 「Which is your father's car, this one or that one ? 」</p> <p>「That blue one is his car. 」</p> <ul style="list-style-type: none">① 基本文をしっかりおぼえよう。② セリフが言えるように、先生や友達と会話してみよう。③ 単語を入れかえて、いろいろな表現をおぼえよう。④ 基本文が書けるように練習しよう。
<p>③12月15日(金)</p>	<p>まとめ</p> <p>今までおぼえてきた会話表現を話したり、書いたりして復習します。</p>

家庭学習用に英語ノート(4線)を1冊準備してください。